

「様式5-1」、「様式5-2」及び「別添様式」の記入例&作成要領

(平成25年省エネ基準準拠の場合)

- 高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）の応募に必要な書類として、「様式5-1」「様式5-2」及び「別添様式」の記入にあたっての留意点、記入例を示したものです。
- ゼロ・エネルギー評価方法によって、提出すべき応募書類が異なります。選択した評価方法に応じた必要書類をご準備ください。
- 複数の住宅をまとめて応募する場合、住宅ごとに異なるゼロ・エネルギーの評価方法を使用することは認められません。評価方法は「平成25年省エネ基準準拠」、または「事業主基準準拠」のいずれかに必ず統一してください。

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）に関わる必要書類は、

- ①提案住宅の概要を記載する「様式5-1」
- ②調査計画設計費等の内容を記載する「様式5-2」（当該費用を申請する場合）
- ③住宅ごとに、概要及び一次エネルギー消費量の計算結果を記載する「別添資料」の3つに分かれています。

「①様式5-1」「②様式5-2」はゼロ・エネルギー評価方法に関わらず共通です。

「③別添様式」は、平成25年省エネ基準準拠の評価方法、事業主基準準拠の評価方法によって様式が異なりますので、使用する評価方法に応じた記入例を参照ください。

※本資料は、『平成25年省エネ基準準拠の評価方法』の例です。

なお、「③別添様式」は、建設が見込まれる住宅の『断熱地域区分』ごとに必要です。下記のとおり建設が見込まれる地域区分に合わせて、必要な地域の「③別添様式」をそれぞれ作成し、提出してください。

【建設予定の地域区分ごとに必要となる別添様式】

- (例1) 6地域のみで建設予定： 1種類（6地域）の評価結果
- (例2) 5, 6地域で建設予定： 2種類（5地域、6地域）の評価結果
- (例3) 1～7地域で建設予定： 7種類（1地域～7地域）の評価結果

本記入例では、「①様式5-1」「②様式5-2」（評価方法によらず共通）と「③別添様式」の6地域を例にした場合（平成25年省エネ基準準拠）の記入例を掲載しています。

■別添様式・H25 省エネ基準の提出資料について

別添様式・H25 省エネ基準は提案種別により、提出が必要な資料が異なります。申請する住宅の提案種別1)、2)について、下記内容をご確認の上、必要な資料を提出してください。

1)	H25 省エネ基準における計算に準じた評価方法によって、標準的な一次エネルギー消費量が概ねゼロとなるもの		
必須	別添様式 1・ H25 省エネ基準	提案種別及び提出書類	
いずれか一方の組合せを添付	別添様式 2-A・ H25 省エネ基準	一次エネルギー消費量の評価書	<ul style="list-style-type: none"> ●コージェネレーションシステムを導入しない場合 ⇒別添様式 2-A と省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果を添付 ●コージェネレーションシステムを導入する場合 ⇒別添様式 2-B と省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果を添付 ⇒省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果は、①：全ての設備を導入した場合と、①'：①から太陽光発電のみを除いた場合の 2 種類を添付 ●外皮性能の計算結果 ⇒別添様式 2-A、2-B いずれの場合も必ず添付 ●住宅概要に係る設計図書 ⇒別添様式 2-A、2-B いずれの場合も必ず平面図、断面図、立面図をそれぞれ添付
	添付資料 1	省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果	
	添付資料 2	外皮性能の計算結果	
	添付資料 3-1 添付資料 3-2 添付資料 3-3	住宅概要に係る設計図書 (平面図、断面図、立面図)	
	別添様式 2-B・ H25 省エネ基準	一次エネルギー消費量の評価書 (コージェネレーションシステムを導入する場合)	<ul style="list-style-type: none"> ●外皮性能の計算結果 ⇒別添様式 2-A、2-B いずれの場合も必ず添付 ●住宅概要に係る設計図書 ⇒別添様式 2-A、2-B いずれの場合も必ず平面図、断面図、立面図をそれぞれ添付
	添付資料 1	①省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果(コージェネ導入・全ての設備) ①' 省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果(太陽光発電を除く)	
	添付資料 2	外皮性能の計算結果	
	添付資料 3-1 添付資料 3-2 添付資料 3-3	住宅概要に係る設計図書 (平面図、断面図、立面図)	
該当する場合に添付	添付資料 4-1・ H25 省エネ基準	エネルギー消費削減量の計算書 【空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合】	⇒空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合に添付資料 4-1 および添付資料 4-2(該当する早見表)を添付
	添付資料 4-2・ H25 省エネ基準	早見表	

注 1) 添付資料 1 は、計算の過程で使用した省エネ基準一次エネルギー消費量の計算結果として「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム(国立研究開発法人 建築研究所ホームページで公開)」を使用して計算を行った結果(様式出力「省エネルギー基準一次エネルギー消費量計算結果(住宅)(PDF)」)を添付してください。なお、住宅名称部分や欄外等に、それぞれの仕様と『タイプ名称(または地域区分)』がわかるように明記してください。

注 2) 添付資料 2 は、外皮性能の計算結果として、「住宅・住戸の外皮性能計算プログラム」(国立研究開

発法人 建築研究所ホームページで公開)、「住宅の外皮平均熱貫流率及び外皮平均日射熱取得量計算書」(一般社団法人 住宅性能評価・表示協会ホームページで公開)等を使用して計算を行った結果を添付してください。

注3) 添付資料3-1の平面図は、「主たる居室」、「その他の居室」、「非居室」がわかるように色分けし、それぞれの床面積を記載してください。また、添付資料3-2の断面図および添付資料3-3の立面図は、熱的境界部位がわかるように色付けし、外皮性能の計算に使用した外皮面積を記載してください。

2)	評価委員会が上記と同等以上の水準の省エネ性能を有する住宅として認めるもの		
必須	別添様式 1・ H25 省エネ基準	提案種別及び提出書類	
いずれか一方を添付	別添様式 2-A・ H25 省エネ基準	一次エネルギー消費量の評価書	<ul style="list-style-type: none"> ● コージェネレーションシステムを導入しない場合 ⇒別添様式 2-A と省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果を添付 ● コージェネレーションシステムを導入する場合 ⇒別添様式 2-B と省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果を添付 ⇒省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果は、①：全ての設備を導入した場合と、①'：①から太陽光発電のみを除いた場合の 2 種類を添付 ● 外皮性能の計算結果 ⇒別添様式 2-A、2-B いずれの場合も必ず添付 ● 住宅概要に係る設計図書 ⇒別添様式 2-A、2-B いずれの場合も必ず平面図、断面図、立面図をそれぞれ添付
	添付資料 1	省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果	
	添付資料 2	外皮性能の計算結果	
	添付資料 3-1 添付資料 3-2 添付資料 3-3	住宅概要に係る設計図書 (平面図、断面図、立面図)	
	別添様式 2-B・ H25 省エネ基準	一次エネルギー消費量の評価書 (コージェネレーションシステムを導入する場合)	
	添付資料 1	①省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果(コージェネ導入・全ての設備)	
		①' 省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果(太陽光発電を除く)	
		添付資料 2	
添付資料 3-1 添付資料 3-2 添付資料 3-3	住宅概要に係る設計図書 (平面図、断面図、立面図)		
該当する場合に添付	添付資料 4-1・ H25 省エネ基準	エネルギー消費削減量の計算書 【空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合】	⇒空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合に添付資料 4-1 および添付資料 4-2(該当する早見表)を添付
	添付資料 4-2・ H25 省エネ基準	早見表	
必須	別添様式 3・ H25 省エネ基準	導入する省エネ手法の内容 【評価委員会が認める住宅として申請する場合】	

注 1) 評価委員会が認める住宅として申請する場合は、別添様式 3 に取り組みの詳細を記載して必ず提出ください。

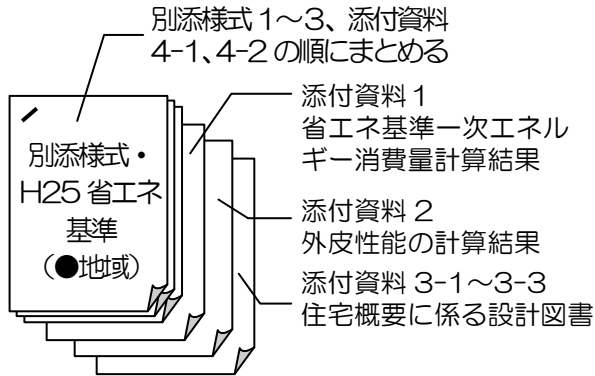
注 2) 添付資料 1 は、計算の過程で使用した省エネ基準一次エネルギー消費量の計算結果として「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム(国立研究開発法人 建築研究所ホームページで公開)」を使用して計算を行った結果(様式出力「省エネルギー基準一次エネルギー消費量計算結果(住宅)(PDF)」)を添付してください。なお、住宅名称部分や欄外等に、それぞれの仕様と『タイプ名称(または地域区分)』がわかるように明記してください。

- 注 3) 添付資料 2 は、外皮性能の計算結果として、「住宅・住戸の外皮性能計算プログラム」(国立研究開発法人建築研究所ホームページで公開)、「住宅の外皮平均熱貫流率及び外皮平均日射熱取得量計算書」(一般社団法人 住宅性能評価・表示協会ホームページで公開)等を使用して計算を行った結果を添付してください。
- 注 4) 添付資料 3-1 の平面図は、「主たる居室」、「その他の居室」、「非居室」がわかるように色分けし、それぞれの床面積を記載してください。また、添付資料 3-2 の断面図および添付資料 3-3 の立面図は、熱的境界部位がわかるように色付けし、外皮性能の計算に使用した外皮面積を記載してください。

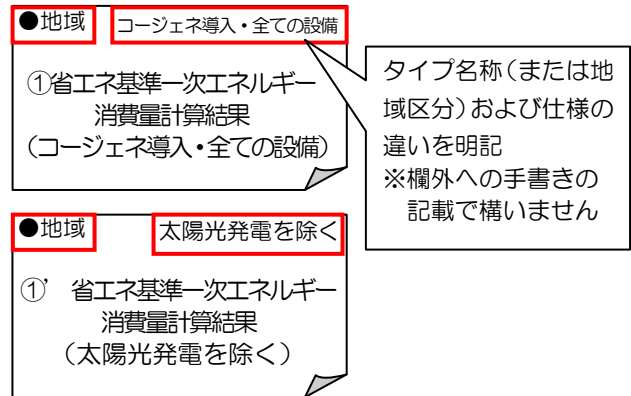
■別添様式等の応募書類、応募書類データ（電子ファイル）の提出方法について

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）に関する別添様式は、下記の例にならってまとめてください。また、CD-R へ保存する応募書類データは、ファイル名を「グループ名 - タイプ名称 - 書類名」として様式5及び別添様式・H25 省エネ基準を保存してください。なお、別添様式・H25 省エネ基準については地域区分ごとにフォルダにまとめてください。

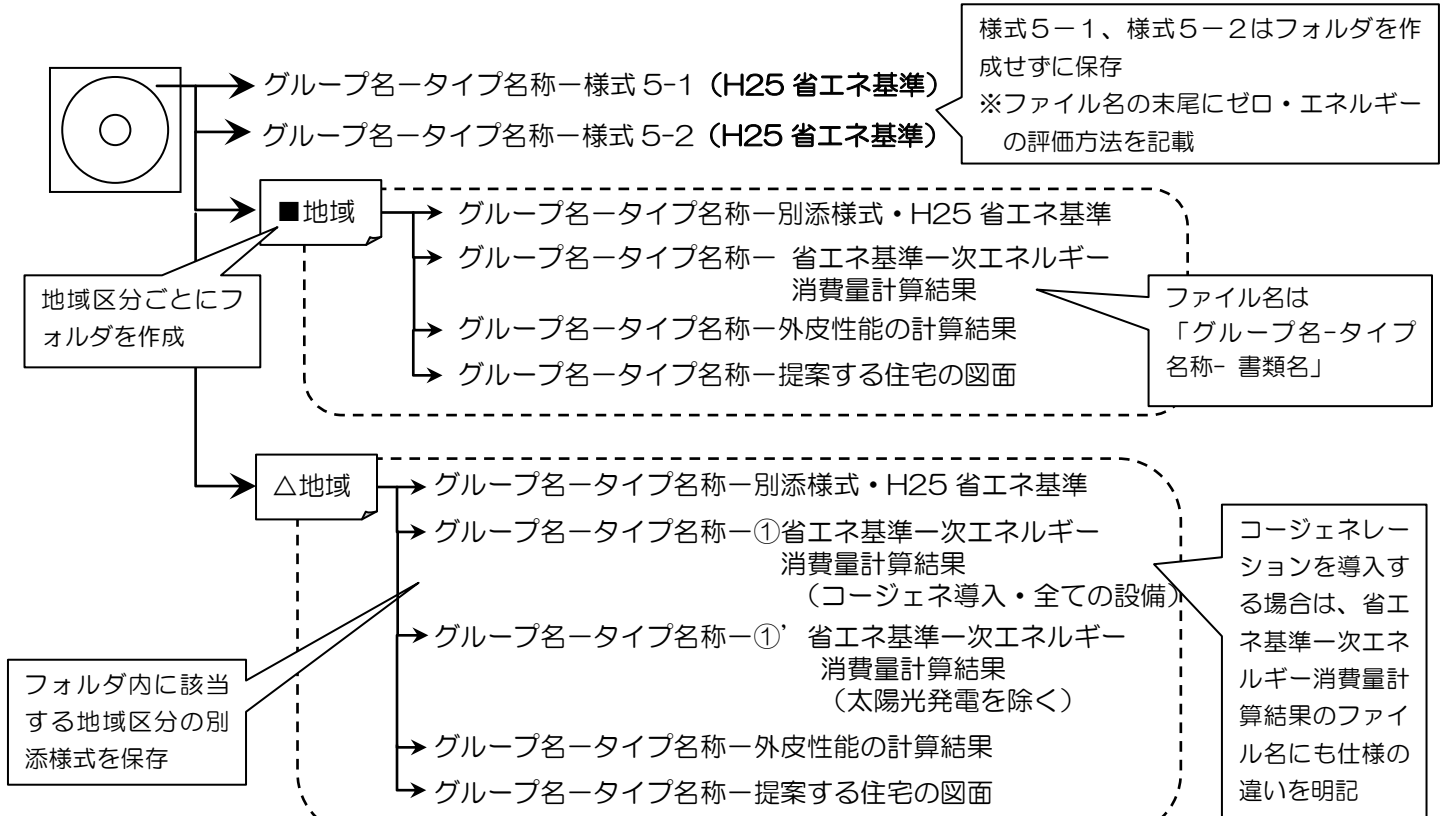
【別添様式のまとめ方】



注) コージェネレーションを導入する場合の省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果



【CD-R への応募書類データの保存方法（提案が2種類の地域の場合）】



※応募書類のデータは、審査の際の問合せ等で使用する場合がありますので、提出するものとは別に、必ず各自で保存してください。

※「様式5-1」「様式5-2」及び「別添様式」の電子データを CD-R へ保存の際は、必ずダウンロードした excel 形式のままコピーしてください。(PDF 等他の保存形式には絶対にしないでください。)

高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 提案住宅の概要

グループ名	○○○○○○○
-------	---------

応募グループ名を記載してください

※□は該当するものを■として選択してください。
 ※供給予定の断熱地域区分ごとに、適宜名称をつけ、必要事項を記載してください。
 ※供給予定がある断熱地域区分ごとに、モデルプランでゼロ・エネルギー評価を行い、別添様式を添付してください。

(1) 供給計画の概要

地域区分	タイプ名称 (それぞれ適宜名称をつけてください)	供給戸数 (予定)	区分 (いずれか一つを選択)			事業形態 (いずれか一つを選択)		
			新築のみ	改修のみ	新築又は改修	請負	建売	請負又は建売
1								
2								
3								
4			戸	□	□	□	□	□
5	○○○○○○○	5	戸	■	□	□	□	■
6	△△△△△△△	10	戸	□	■	□	■	□
7	●●●●●●●	5	戸	□	□	■	□	■
8			戸	□	□	□	□	□
合計		20	戸					

建設する見込みがある地域について、全て記入してください

該当するものを選択。なお、「新築・改修」の区分、「請負・建売」の事業形態が未定の場合は、「新築又は改修」、「請負又は建売」を選択してください

合計欄は自動で計算されます

(2) ゼロ・エネルギー評価方法 ※応募にあたり評価方法はいずれか一つに統一していただきます。

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 平成25年省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法 <input type="checkbox"/> 事業者基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法
------	--

使用した評価方法に該当するものを■で選択してください

(3) モデルプランによるゼロ・エネルギー評価結果

地域区分	提案種別		エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの (記述)
	1)提案する住宅の基準一次エネルギー消費量が概ねゼロとなるもの	2)評価委員会が認める住宅として申請する場合	全体 R (%)	太陽光発電を除く R ₀ (%)	太陽光発電	容量 (kW)	太陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	
1	□	□			□		□	□	□	
2	□	□			□		□	□	□	
3	□	□			□		□	□	□	
4	□	□			□		□	□	□	
5	□	■	104.1	38.8	■	3.50	□	□	□	●●●●●
6	■	□	117.4	41.8	■	5.00	□	□	■	
7	■	□	101.4	23.4	■	4.00	□	□	□	
8	□	□			□		□	□	□	

別添様式 2-A、2-B・H25 省エネ基準における計算結果を転記してください

記載の省エネルギー手法を導入する場合、該当するものを■で選択してください
 ※太陽光発電は総発電容量(小数点以下2桁まで)も記載してください

2) 評価委員会が認める住宅として申請する場合には、必ず記載してください
 ※別添様式3も必ず添付してください

調査設計計画費、効果の検証等に要する費用を申請する場合のみ添付

〈様式5-2・ゼロエネ〉

調査設計計画費・効果の検証等に要する費用の内容と理由

※調査設計計画費、効果の検証等に要する費用を申請する場合のみ提出してください。

それぞれ費用の内容と特別に必要となる理由を必ず記載してください。

評価委員会が記載内容を評価し、特別に必要だと認める場合に限り、補助対象となります。

グループ名		〇〇〇〇〇〇
1. 調査設計計画に要する費用	具体的内容	<p>調査設計計画費の内容を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇〇費といった項目名のみ記載の場合は、審査の対象外とすることがあります。 本事業の応募にあたって必要となる申請書の作成、外皮性能や一次エネルギー消費量の計算に関する費用は対象外です。
	特別に必要となる理由	<p>住宅のゼロ・エネルギー化にあたって、新たな取り組みを進めるため、特別に必要となる理由を、これまでの取り組みとの違いを含めて、具体的に記載してください。</p>
	補助対象費用 (1戸あたり)	●●● 千円/戸 (補助額は記載の額の1/2)
	対象戸数	■● 戸
2. 効果の検証等に要する費用	具体的内容	<p>効果の検証の対象とする「新たな技術の内容」、「効果の検証方法」と「検証費用の内容」を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇〇費といった項目名のみ記載の場合は、審査の対象外とすることがあります。 一般的な断熱性能、気密性能や設備の性能など、ゼロ・エネルギー住宅として基本的な性能を確認するための計測費用は対象外です。
	特別に必要となる理由	<p>住宅のゼロ・エネルギー化にあたって新たに取り入れた技術について、効果の検証が特別に必要となる理由を、これまでの取り組みとの違い、効果の検証後の波及効果を含めて、具体的に記載してください。</p>
	補助対象費用 (1戸あたり)	●●● 千円/戸 (補助額は記載の額の1/2)
	対象戸数	■● 戸

申請する調査計画設計に要する費用と対象戸数を明記してください

申請する調査計画設計に要する費用と対象戸数を明記してください

- 調査設計計画費、効果の検証等の費用を申請する場合、本様式への記載がないと申請できませんので、必ず具体的な内容と必要な理由を記載してください。
- 本記入例はサンプルです。適宜わかりやすいように記載いただいて結構です。

必須

(別添様式1・H25省エネ基準)

タイプ別ゼロ・エネルギー評価書(提案種別・提出書類)

グループ名	〇〇〇〇〇〇〇〇		
地域区分	6	タイプ名称	〇〇 ●●

様式5に記載のタイプ名称と一致しているかを確認してください

事業の要件で、一次エネルギー消費量が概ねゼロとなる住宅の1)、2)のいずれで申請するのか、該当する欄

1. 住宅の提案種別

- 1) 提案する住宅の基準一次エネルギー消費量が概ねゼロとなるもの
- 2) 評価委員会が認める住宅として申請する場合

該当する口を■で選択し、必要資料が添付されているかを確認してください

コージェネレーションを導入する場合
※必ず別添様式2-Bを使用してください
※添付資料1は
① : 全ての設備等を導入した計算結果
①' : ①から太陽光発電を除いた計算結果
の2種類が必要です

<input checked="" type="checkbox"/> 別添様式1・H25省エネ基準(本紙)
<input checked="" type="checkbox"/> 別添様式2-A・H25省エネ基準(一次エネルギー消費量の評価書)
<input type="checkbox"/> 別添様式2-B・H25省エネ基準(一次エネルギー消費量の評価書(コージェネレーションシステムを導入する場合))
<input checked="" type="checkbox"/> 添付資料1(省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果)
<input checked="" type="checkbox"/> 添付資料2(外皮性能の計算結果)
<input checked="" type="checkbox"/> 添付資料3-1 住宅概要に係る設計図書(平面図)
<input checked="" type="checkbox"/> 添付資料3-2 住宅概要に係る設計図書(断面図)
<input checked="" type="checkbox"/> 添付資料3-3 住宅概要に係る設計図書(立面図)
<input type="checkbox"/> 添付資料4-1・H25省エネ基準(空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合)
<input type="checkbox"/> 添付資料4-2・H25省エネ基準(早見表)

空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合は、添付資料4-1、4-2を添付してください

2) 評価委員会が認める住宅として申請する場合

<input type="checkbox"/> 別添様式1・H25省エネ基準(本紙)
<input type="checkbox"/> 別添様式2-A・H25省エネ基準(一次エネルギー消費量の評価書)
<input type="checkbox"/> 別添様式2-B・H25省エネ基準(一次エネルギー消費量の評価書(コージェネレーションシステムを導入する場合))
<input type="checkbox"/> 添付資料1(省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果)
<input type="checkbox"/> 添付資料2(外皮性能の計算結果)
<input type="checkbox"/> 添付資料3-1 住宅概要に係る設計図書(平面図)
<input type="checkbox"/> 添付資料3-2 住宅概要に係る設計図書(断面図)
<input type="checkbox"/> 添付資料3-3 住宅概要に係る設計図書(立面図)
<input type="checkbox"/> 添付資料4-1・H25省エネ基準(空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合)
<input type="checkbox"/> 添付資料4-2・H25省エネ基準(早見表)
<input type="checkbox"/> 別添様式3・H25省エネ基準(導入する省エネ手法の内容【評価委員会が認める住宅として申請する場合】)

住宅の提案種別を2) 評価委員会が認める住宅として申請する場合は、別添様式3を添付してください

コージェネレーションシステムを導入しない場合に添付

(別添様式2-A・H25省エネ基準)

一次エネルギー消費量の評価書

1. 省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法による計算結果

住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラムの計算結果を該当欄に転記

(1)タイプ名称	○○ ●●			
(2)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	合計
	29.81 m ²	51.34 m ²	38.93 m ²	120.08 m ²
(3)省エネ地域区分 /年間日射地域区分	6	地域 / A	3	区分
(4)住宅の一次エネルギー消費量 (1戸当り)	基準一次エネルギー消費量		設計一次エネルギー消費量	
暖房設備一次エネルギー消費量	15,399 MJ/(戸・年)		7,024 MJ/(戸・年)	
冷房設備一次エネルギー消費量	4,331 MJ/(戸・年)		5,812 MJ/(戸・年)	
換気設備一次エネルギー消費量	4,542 MJ/(戸・年)		3,228 MJ/(戸・年)	
照明設備一次エネルギー消費量	10,763 MJ/(戸・年)		6,135 MJ/(戸・年)	
給湯設備一次エネルギー消費量	25,091 MJ/(戸・年)		17,280 MJ/(戸・年)	
合計	60,126 MJ/(戸・年) ①		39,479 MJ/(戸・年) ②	
(5)太陽光発電等による発電量 総発電量			49,995 MJ/(戸・年) ③	

2. エネルギー削減量、エネルギー削減率の計算結果(ゼロ・エネルギーの

※ピンク色の欄の数値を様式3-①の(4)に転記してください。

太陽光発電等による発電量(参考値 総発電量)を転記
※評価値を記載しないよう注意してください

基準エネルギー消費量	60,126 MJ/(戸・年)		
省エネ量	A (基本仕様)	20,647 MJ/(戸・年)	
	B (空気集熱式太陽熱利用)	0 MJ/(戸・年)	
	C (太陽光発電)	49,995 MJ/(戸・年)	
	小計	70,642 MJ/(戸・年) ⑧ : ⑤+⑥+⑦	
等エネルギー評価結果	エネルギー消費量	-10,516 MJ/(戸・年) ⑨ : ④-⑧	
	エネルギー消費削減量	70,642 MJ/(戸・年) ⑩ : ⑧	
	エネルギー削減率(R)	117.5 % ⑪ : ⑩ ÷ ④ × 100	
	太陽光発電を除く評価結果	エネルギー消費削減量	20,647 MJ/(戸・年) ⑫ : ⑤+⑥
	エネルギー削減率(R ₀)	34.3 % ⑬ : ⑫ ÷ ④ × 100	

添付資料 4-1 の計算結果を該当欄に転記
※該当しない場合は「0」を記載してください

評価結果は自動で計算されます

注1)「1. 省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法による計算結果」には、別途計算した結果を転記してください。

なお、「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム((独)建築研究所ホームページで公開)」を使用して計算を行った結果は、添付資料1として必ず提出してください。

注2) グレー及びピンクの欄は自動で計算されますので、入力は不要です。

様式5 (3) に転記

コージェネレーションシステムを導入する場合に添付

(別添様式2-B・H25省エネ基準)

一次エネルギー消費量の評価書

(コージェネ)

住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラムの計算結果を該当欄に転記

※太陽光発電を含む提案する全ての内容で計算した結果

1. 省エネ基準一次エネルギー消費量算定

(1)タイプ名称	○○ ●●				
(2)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	合計	
	29.81 m ²	51.35 m ²	38.92 m ²	120.08 m ²	
(3)省エネ地域区分 /年間日射地域区分	6	地域	/ A	3	区分
(4)住宅の一次エネルギー消費量 (1戸当り)	基準一次エネルギー消費量		設計一次エネルギー消費量		
暖房設備一次エネルギー消費量	15,399	MJ/(戸・年)	7,024		
冷房設備一次エネルギー消費量	4,331	MJ/(戸・年)	5,812		
換気設備一次エネルギー消費量	4,542	MJ/(戸・年)	3,228		
照明設備一次エネルギー消費量	10,763	MJ/(戸・年)	6,135		
給湯設備一次エネルギー消費量	25,091	MJ/(戸・年)	31,660		
合計	60,126	MJ/(戸・年)	① 53,859		
(5)太陽光発電等による発電量	総発電量		64,339	MJ/(戸・年)	③

太陽光発電等による発電量(参考値 総発電量)を転記
※評価値を記載しないよう注意してください
※太陽光発電を含む提案する全ての内容で計算した結果

2. コージェネレーションシステムによる発電量

(6)太陽光発電等による発電量	評価量	18,889	MJ/(戸・年)	③'
-----------------	-----	--------	----------	----

注)太陽光発電を除いた場合の省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法に基づいて計算した太陽光発電等による発電量の「評価量」を記載してください。

3. エネルギー削減量、エネルギー削減率の計算結果(ゼロ・エネルギー)

※ピンク色の欄の数値を様式3-①の(4)に転記してください。

基準エネルギー消費量		60,126	MJ/(戸・年)	
省エネ量	A (基本仕様)	25,156	MJ/(戸・年)	
	B (空気集熱式太陽熱利用)		MJ/(戸・年)	⑥ : ※併用不可
	C (太陽光発電)	45,450	MJ/(戸・年)	⑦ : ③-③'
	小計	70,606	MJ/(戸・年)	⑧ : ⑤+⑦
一次エネルギー消費量	全体としての評価結果	エネルギー消費量	-10,480	MJ/(戸・年)
	エネルギー消費削減量	70,606	MJ/(戸・年)	⑩ : ⑧
	エネルギー削減率(R)	117.4	%	⑪ : ⑩ ÷ ④ × 100
	太陽光発電を除く評価結果	エネルギー消費削減量	25,156	MJ/(戸・年)
エネルギー削減率(R ₀)	41.8	%	⑬ : ⑫ ÷ ④ × 100	

太陽光発電のみを除いた条件での住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラムの計算結果から、太陽光発電等による発電量「評価量」を転記
※太陽光発電以外は「1.」の計算条件と同じ条件で計算してください

評価結果は自動で計算されます

注1)「1. 省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法による計算結果」には、別途計算した結果を転記してください。

なお、「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム(独)建築研究所ホームページで公開」を使用して計算を行った結果は、添付資料1として必ず提出してください。

注2)グレー及びピンクの欄は自動で計算されますので、入力は不要です。

様式5(3)に転記

空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合に添付

(添付資料4-1・H25省エネ基準)

エネルギー消費削減量の計算書【空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合】

タイプ名称	○○ ●●	採用するシステムの概要を記載																			
採用する空気集熱式太陽熱利用システムの概要について、該当する欄に記載してください。 ※本様式は算定要しています。 採用する省エネ手 数値を求めて転		空気集熱式太陽熱利用システムの概要 地域区分 6 傾斜角 4寸勾配 方位角 真南から東西へ10°未満 集熱面積 透過体を持つ集熱部 11.60 m ² A _G 透過体のない集熱部 14.40 m ² A _S 集熱部面積計 18.80 m ² A=A _G +(A _S ÷2) 採用する省エネ手法 <input type="checkbox"/> 手法1(太陽熱を暖房のみに利用) <input checked="" type="checkbox"/> 手法2(太陽熱を暖房と給湯に利用) <input checked="" type="checkbox"/> 手法3(システム駆動専用の太陽光発電の採用) <input checked="" type="checkbox"/> 手法4(24時間換気との連動) 暖房方式 <input type="checkbox"/> 住宅全体を暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかを暖房																			
●手法1を採用する場合 (①、②)の計算値を記載) ① 住宅全体を暖房 ⇒ 早見表1-1 「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかを暖房 ⇒ 早見表1-2 ② 手法3を採用する ⇒ 「0」を記載 手法3を採用しない ⇒ 早見表1-3 ※①は暖房方式に応じて早見表が異なります。 ※③、④には「0」を記載してください。		早見表によるエネルギー消費量等(早見表1-1～1-6から算出) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計算値</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 集熱部単位面積あたりの暖房エネルギー削減量</td> <td>98 MJ/年m²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 空気搬送に要するシステムの一次エネルギー消費量</td> <td>0 MJ/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 集熱部単位面積あたりの給湯エネルギー削減量</td> <td>324 MJ/年m²</td> <td>E_{HW-R}</td> </tr> <tr> <td>④ 給湯用採熱に要するシステムの一次エネルギー消費量</td> <td>0 MJ/年</td> <td>E_{HW-system}</td> </tr> <tr> <td>⑤ 換気エネルギー削減量の削減率</td> <td>0.330</td> <td>R_V</td> </tr> </tbody> </table> 採用する手法に応じて、早見表の値を転記		項目	計算値	記号	① 集熱部単位面積あたりの暖房エネルギー削減量	98 MJ/年m ²		② 空気搬送に要するシステムの一次エネルギー消費量	0 MJ/年		③ 集熱部単位面積あたりの給湯エネルギー削減量	324 MJ/年m ²	E _{HW-R}	④ 給湯用採熱に要するシステムの一次エネルギー消費量	0 MJ/年	E _{HW-system}	⑤ 換気エネルギー削減量の削減率	0.330	R _V
項目	計算値	記号																			
① 集熱部単位面積あたりの暖房エネルギー削減量	98 MJ/年m ²																				
② 空気搬送に要するシステムの一次エネルギー消費量	0 MJ/年																				
③ 集熱部単位面積あたりの給湯エネルギー削減量	324 MJ/年m ²	E _{HW-R}																			
④ 給湯用採熱に要するシステムの一次エネルギー消費量	0 MJ/年	E _{HW-system}																			
⑤ 換気エネルギー削減量の削減率	0.330	R _V																			
●手法2を採用する場合 (①、②、③、④)の計算値を記載) ① 住宅全体を暖房 ⇒ 早見表1-1 「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかを暖房 ⇒ 早見表1-2 ② 手法3を採用する ⇒ 「0」を記載 手法3を採用しない ⇒ 早見表1-3 ③ ⇒ 早見表1-4 ④ 手法3を採用する ⇒ 「0」を記載 手法3を採用しない ⇒ 早見表1-5 ※①は暖房方式に応じて早見表が異なります。		省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法による計算結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計算値</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑥ 換気エネルギー消費量(注)</td> <td>3,228 MJ/年</td> <td>E_V</td> </tr> </tbody> </table> 省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果を転記		項目	計算値	記号	⑥ 換気エネルギー消費量(注)	3,228 MJ/年	E _V												
項目	計算値	記号																			
⑥ 換気エネルギー消費量(注)	3,228 MJ/年	E _V																			
●手法4を採用する場合 (⑤、⑥)の計算値を記載) ⑤ 手法4を採用する ⇒ 早見表1-6 手法4を採用しない ⇒ 「0」を記載 ※手法4を採用しない場合には、⑥にも「0」を記載してください。		※上表を入力すると自動で計算されますので、入力は不要です。 ※ピンク色の欄の数値を別添様式2-Aに転記してください。																			
1) 空気集熱式太陽熱利用システムによるエネルギー消費削減量(省エネ量B)		計算方法に関する注意事項																			
$ (E_{H-R}) \times (A) - (E_{H-system}) + (E_{V}) \times (R_V) $ (98 × 18.8 - 0) + (3,228 × 0.330)		$ (S_B) = 8,999 \text{ [MJ/年]} $ ⇒ 別添様式2-Aの⑥に転記																			
※別添様式2-Aの⑥に転記		別添様式2-Aの該当欄に結果を転記																			

添付資料 4-1 とともに、使用する早見表のみ添付

(添付資料4-2・H25省エネ基準)

早見表1-2 集熱部の単位面積あたりの暖房一次エネルギーの削減量
【「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかを暖房する場合】

- ※ 使用する早見表を添付資料4-1と合わせて提出してください。
その際、該当する値のセルの色を変更する、「○」をつけるなど、転記した値がわかるように明示してください。
- ※ 使用する早見表のみ添付してください。使用していない早見表の添付は不要です。

転記に関する
注意事項

【6地域】 集熱部の単位面積あたりの暖房一次エネルギー削減量[MJ/年・㎡]

各居室を間欠して暖房する場合		傾斜角							
		3寸勾配	4寸勾配	5寸勾配	6寸勾配	7寸勾配	8寸勾配	9寸勾配	10寸勾配
方位角	真南から西へ70° 以上、70° 未満	70°	21.80°	26.57°	30.96°	34.99°	38.66°	41.99°	45.00°
	真南から西へ30° 以上、50° 未満	72	78	83	87	89	91	91	92
	真南から西へ10° 以上、30° 未満	95	103	110	114	117	119	121	121
	真南から東へ10° 以上、30° 未満	100	109	114	117	119	126	127	128
	真南から東へ10° 未満	97	105	104	109	112	122	123	123
	真南から東へ10° 以上、30° 未満	90	98	104	109	112	114	115	115
	真南から東へ30° 以上、50° 未満	85	92	98	102	105	107	108	108
	真南から東へ30° 以上、50° 未満	80	87	92	96	98	100	101	101
	真南から東へ50° 以上、70° 未満	73	79	84	87	90	91	92	93
真南から東へ70° 以上、90° 未満	58	63	67	70	72	73	74	74	

該当する地域を選択し、方位角・傾斜角から値を選択

該当する値を明示して早見表を添付

【7地域】 集熱部の単位面積あたりの暖房一次エネルギー削減量[MJ/年・㎡]

各居室を間欠して暖房する場合		傾斜角							
		3寸勾配	4寸勾配	5寸勾配	6寸勾配	7寸勾配	8寸勾配	9寸勾配	10寸勾配
方位角	真南から西へ70° 以上、90° 未満	16.70°	21.80°	26.57°	30.96°	34.99°	38.66°	41.99°	45.00°
	真南から西へ50° 以上、70° 未満	74	81	86	89	92	93	94	94
	真南から西へ30° 以上、50° 未満	88	96	102	106	109	111	112	113
	真南から西へ10° 以上、30° 未満	88	96	102	106	109	111	112	112
	真南から東へ10° 未満	82	90	95	99	102	104	105	105
	真南から東へ10° 以上、30° 未満	77	84	89	93	95	97	98	98
	真南から東へ30° 以上、50° 未満	74	81	86	89	92	93	94	95
	真南から東へ30° 以上、50° 未満	74	80	85	89	91	93	94	94
	真南から東へ50° 以上、70° 未満	71	77	82	85	88	89	90	90
真南から東へ70° 以上、90° 未満	58	63	67	70	72	73	74	74	